



安濃郷土資料館

今年8月1日、安濃郷土資料館がサンヒルズ安濃内の安濃図書館2階に移転し、リニューアルオープンしました。

安濃地域には、昭和27年に国史跡に指定された明合古墳(田端上野)をはじめ、多くの古墳や遺跡があることが知られています。安濃郷土資料館では、主に各時代の遺跡からの出土品を通じて、安濃地域の歴史と文化を紹介しています。

展示室に入ると、はじめに縄文時代の出土品が展示されています。経ヶ峰の麓に広がる西相野遺跡(草生)から出土した縄文土器は、小さな破片ですが約6,000年前の縄文時代早期末にまでさかのぼるものです。このほか、縄文時代から弥生時代にかけての展示コーナーでは、大城遺跡(内多)から出土した「奉」という文字が刻まれたと考えられている弥生土器片のレプリカや、矢じり、木製品など、さまざまな遺物が展示されています。

や、戦国時代に築かれた現在の阿由多神社周辺にあった安濃城跡(安濃)の模型などが並びます。

近世の展示コーナーには、安濃地域の特産品であった織物「津もぢ」の黒羽織が収められています。津藩領であった清水村(清水)などでかつては盛んに生産されていた津もぢも、現存するものはこの黒羽織を含めて3点しか知られておらず、大変貴重なものです。

このほか、資料館の一角には、たんすや火熨斗ひのしなどの昔の生活の道具も展示しています。隔週日曜日の午後にはボランティアによる展示案内もあります。ぜひ、図書館と併せてご利用ください。



展示室

開館時間 10時～18時

休館日 毎週火曜日、毎月最終木曜日、年末年始、安濃図書館の特別整理期間



さまざまな形の埴輪

古墳時代の展示コーナーに進むと明合古墳の模型のほか、ツカメグリ古墳(田端上野)出土の鶏形埴輪はにわや、谷古墳(内多)出土

の武人埴輪などの造形が目を引きまます。これらの埴輪は、約1,500年前の古墳時代後期のものと考えられています。また、古墳に供えられた須恵器と呼ばれる硬質の土器には、平田17号墳(妙法寺)から出土した有蓋平底壺など、特徴的な形が見られます。

古代・中世のコーナーでは、ジゾウ遺跡(浄土寺)から出土した墨書のある鎌倉時代の山茶碗

